

「手を動かしてまなぶ 続・線形代数」(第1版1刷) 正誤表
(2022年2月9日版)

場所	誤	正
カバーそで	相対	双対
p. 105, (10.10) 式	$f(A)$	$P^{-1}f(A)P$
p. 127, (12.13) 式	$\frac{1}{n-1}t^{n-1}(J(0;n))^{n-1}$	$\frac{1}{(n-1)!}t^{n-1}(J(0;n))^{n-1}$
p. 172, 上から2行目	線形同型写像	全単射
p. 172, 上から2行目	手のマーク	削除する.
p. 174, 上から1行目	$\mathbf{p}_1, \dots, \overline{\mathbf{u}_s}$	$\{\mathbf{p}_1, \dots, \overline{\mathbf{u}_s}\}$
p. 258, 上から8行目	線形	1次
p. 261, 上から3行目	さらに, \dots (手のマーク).	削除する.
p. 268, 図 24.1	左側の「 $V_1 \otimes \dots \otimes V_n$ 」	$V_1 \times \dots \times V_n$

その他

- p. 54, 定理 5.3: 文末に次の脚注を加える. (以下, 脚注番号をずらす.)

$W_1 \cap W_2$ は V の部分空間である [→ [藤岡] p.132, 問 13.2 (1)].

- p. 172, 図 16.1: 見出しを「全単射」に変更し, 次と差し替える.

- X, Y : 空でない集合
- $f: X \rightarrow Y$: 写像

f : 全射 $\stackrel{\text{def.}}{\iff}$ 任意の $y \in Y$ に対して, $y = f(x)$ となる $x \in X$ が存在

f : 単射 $\stackrel{\text{def.}}{\iff} x, x' \in X, x \neq x'$ ならば, $f(x) \neq f(x')$

f : 全単射 $\stackrel{\text{def.}}{\iff} f$: 全射かつ単射

- p. 172, 脚注: 冒頭に次を追加する.

\mathbf{x} から $\overline{\mathbf{x}}$ への対応が定める写像を $f: W(\lambda) \rightarrow W(\overline{\lambda})$ とすると, $f(\mathbf{x} + \mathbf{y}) = f(\mathbf{x}) + f(\mathbf{y})$, $f(c\mathbf{x}) = \overline{c}f(\mathbf{x})$ ($\mathbf{x}, \mathbf{y} \in W(\lambda)$, $c \in \mathbf{C}$) がなりたつ (手のマーク). このような f を **共役線形写像** という. また,